

第68回 野村年金マネジメント研究会セミナー
世界のインフレ情勢と投資環境等を整理する

プログラム

(13:00 配信開始・ご案内)

13:00 - 13:05 開会の辞

荻島 誠治 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (NFRC)
代表取締役社長

[第1部]

13:05 - 14:35 基調講演

地政学的リスクが高まり、インフレが加速する世界情勢を俯瞰する

多くの地域で高まる地政学的リスクの背景と、世界的なインフレ傾向とその対策、特に量的緩和後の金融引き締め難しさについて解説します。

リチャード・クー 株式会社野村総合研究所 主席研究員、チーフエコノミスト



1954年神戸生まれ。76年カリフォルニア大学バークレー校卒業。専攻は政治、経済。米国連邦準備制度理事会(FRB)のドクター・フェローを経て、81年ジョンズホプキンス大学大学院経済学博士課程修了。同年ニューヨーク連銀入行後、84年野村総合研究所入社。経済調査部、投資調査部等を経て、現職。日経金融新聞('95、'96、'97)や日経公社債情報('98、'99、'00)のエコノミスト・ランキングで第一位。全米ビジネスエコノミスト協会(NABE)アブラムソン賞受賞('01)。

公職等として、経済審議会専門委員、小淵総理ものづくり懇談会委員、大蔵省金融審議会委員、早稲田大学客員教授、防衛研究所防衛戦略会議委員などを務めた。現在は米国 Center for Strategic and International Studies シニア・アドバイザーと、米国 Institute for New Economic Thinking アドバイザリー・ボード・メンバーを務める。独Handelsblatt紙のコラムニスト。

- 休憩 -

プログラム

[第2部]

14 : 50 - 15 : 20 講演

暗号資産投資の未来～インフレ環境下における暗号資産の市場動向の整理・検証を交えて～

インフレヘッジ手段として注目を集めている暗号資産の基本的事項について整理するとともに、実際にインフレ環境が進展している昨今、世間の期待通りの機能を発揮しているのかについて実績検証し、そこから得られる示唆等についてご紹介します。

高橋 亨

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (NFRC)
フィデューシャリー・マネジメント部 シニアコンサルタント



2008年東京工業大学大学院社会理工学研究科修了後、日本生命保険相互会社入社。国内債券運用に従事し、国債・地方債・事業債および証券化商品への投資とマクロ経済分析を担当。その後、債券・株式運用の運用者リサーチや不動産ファンドオブファズ運用に従事。2015年野村証券入社。フィデューシャリー・マネジメント部にて企業年金向け運用コンサルティングおよびプライベートアセットを中心に資産運用に関するリサーチを行う。2021年12月より現職。

15 : 20 - 16 : 05 講演

今後の投資環境の展望、インフレ制御と景気後退懸念をめぐる仁義なき戦いへ？

米欧におけるインフレ加速を受けた利上げ状況や今後の見通しも整理しながら、昨今の地政学的リスク上昇やコモディティ価格上昇がコロナ禍以降の過剰貯蓄によって吸収可能であるか、今後の更なる金融引き締めにより、景気後退懸念等を通じた混乱が生じないかなどの論点について点検します。また、数多くある指標・イベントの中で、何が金融市場に影響を与えているのか、そしてウクライナ紛争により混乱した市場環境での投資機会を整理します。TAA（戦術的アセットアロケーション）の手法を用いた直近の投資判断もご紹介します。

北岡 智哉

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (NFRC)
CIOマネジメント部 チーフ・ストラテジスト



2000年東京大学教養学部卒業後に野村証券入社、金融経済研究所投資調査部にてストラテジスト。内外の証券会社でストラテジスト、エコノミストを経験し、経済産業省などを経て2021年に野村証券フィデューシャリー・マネジメント部CIOグループにてチーフ・ストラテジスト。2021年12月より現職。

機関投資家によるランキング評価ではストラテジスト、エコノミスト、市場分析アナリストの各分野で同時期に上位に入り、ストラテジストのようなエコノミスト、エコノミストのようなストラテジストと呼ばれる。データ分析を重視するがその限界にも注意を払い、データ以外の情報にもアクセスし、定量・定性判断を融合した投資判断を行う。

16 : 05 - 16 : 10 事務連絡・閉会